



ていじせい かぜ 定時制の旋風

県立小野工業高等学校 定時制課程

2025年1月号

発行者 教頭 松本康一

「青は藍より出でて藍より青し」

新年明けましておめでとうございます。皆さんにとってこの令和7年が幸多き年でありますよう心より祈念いたします。

さて、皆さんは題目にある、「青は藍より出でて藍より青し」ということわざをご存知でしょうか。藍は蓼科の一年草であり、これをしばって青い染料をとります。青い染料の方が、元の材料より青いということから、弟子が師よりまさっていることのたとえとしても用いられます。しかし、本来の意味は、学問は中断してはいけない。努力すればするほど精錬されてすぐれたものになるというのが本来の意味です。

スポーツ選手や芸能人でも、磨けば光る原石だと言われている人材は多いですが、これは皆さん全員にもあてはまります。勉強以外のことにおいても、自分自身が何に向いているかなんて、実際に継続してやっていかないと分からないことですし、大抵の人間は結果が出るまでに止めてしまいがちです。校長先生より「生徒一人ひとりが、今年の目標を立て、目標達成のために、どのような努力をしていくのかを具体的に考えましょう」とお話をして頂きましたが、何か目標を立てることは出来ていますでしょうか。

たとえば皆さんがどこかに出かけるとしても、目的地がはっきりしているのとそうでないのでは、同じ場所に到着するまでに掛かる時間は全く違ってくると思います。どれだけ裕福になっても、時間だけはどうすることも出来ません。今皆さんが何気なく過ごしてしまっている時間があるとすれば、それは何よりの財産を失ってしまっていることでもあります。ですから、再度自分の目標をしっかりと立てて、時間を有効に使ってみてください。きっちりと目標達成のための計画を立て、時間管理も出来たとしたら、いくつもの成果があげられることに間違いはありません。皆さんが何十年後かに多くの成功体験を積み重ねていることを期待しております。

【暴力団等反社会的勢力排除教室】

12月18日(水)今年度2回目の暴排教室を行いました。

闇バイトや大麻…それは犯罪、加担しないで

先日、学校で行われた「暴力団等反社会的勢力排除教室(暴排教室)」では、暴力団追放兵庫県民センターの方から、闇バイトや大麻の危険性について詳しくお話がありました。



暴力団員になってしまうと、法律や条例によって様々な行動が制限され、私たちが普段当たり前に利用している携帯電話の契約や、その他の社会的なサービスを受けることができなくなります。「今の当たり前」が失われてしまうのです。

特に注意が必要なのは「闇バイト」です。SNSを通じて、「高収入」「簡単」といった言葉で誘われますが、その実態は強盗や詐欺といった重大な犯罪に繋がる危険なものです。最近では、闇バイトだと気づかせないような一般的な言葉で募集されていることもあり、見分けることが難しくなっています。もし、少しでも「おかしいな」「危険かもしれない」と感じたら、絶対に安易に手を出さず、すぐに暴力団追放県民センターや警察、信頼できる先生や友人に相談してください。軽い気持ちで始めたことが、一生を棒に振る結果になりかねません。

また、大麻は「体に無害」といった間違った情報が出回っていますが、決してそんなことはありません。脳細胞を破壊し、幻聴などの深刻な症状を引き起こすだけでなく、交通事故など、重大な事故に繋がる可能性もあります。絶対に手を出してはいけません。

今回の暴排教室で学んだことを忘れずに、甘い言葉の裏に潜む危険をしっかりと見抜き、犯罪に巻き込まれることのないよう、強く意識してください。もし、困ったことや不安なことがあれば、一人で悩まず、いつでも先生たちに相談してください。私たちは皆さんを守ります。

(文責 教頭 松本 康一)